

北区公共施設等総合管理計画（案）に関するパブリックコメント実施結果

意見募集期間：令和7年3月10日（月）～令和7年4月10日（木）

意見提出者：4名（内訳）北区ホームページ4名

意見総数：18件

周知方法：北区ニュース（3月10日号）、北区公式ホームページ、経営改革・公共施設再配置推進担当課窓口、
区政資料室、地域振興室、図書館

提出された意見の概要とそれに対する区の考え方は以下のとおりです。

1 公共施設マネジメントについて

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
1	《視点5》施設構成の検討に当たっては、徒歩・自転車・公共交通でのアクセス性を考慮した交通まちづくりの視点を加えるべきである。2010年改定の都市計画マスタープランでは、駅周辺への都市機能の集約化・複合化をすすめ、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを目指す方針が加わっている。公共施設には、学校、病院、福祉施設、図書館等、交通弱者が利用する施設が多いため、高齢化社会を迎える中、駅周辺への集約化・複合化の方針は特に重要である。	1	限られた財源の中で区民サービスの向上を図るためには、施設から「機能」を切り離して検討し、施設の有効活用を図ることが重要であると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2	公共施設マネジメント方針を実現させるための方策P.23②学校等の施設への集約化・複合化においては、駅からの距離や公共交通でのアクセスを十分考慮すべきである。	1	
3	《視点6》の防災機能の強化は、公共施設自体の耐震対策や連携強化だけでなく、水害時に住民の避難が滞りなく行えるような地形条件（低地／高台／崖線等）を考慮した施設配置とすることが必要である。特に荒川氾濫時に大きな浸水深が想定されている地域（低地側）の公共施設は、浸水に遭っても再建が容易にできる建物構造にしておくことが必要であり、敷地の盛土（水塚）や、1階は浸水しても差し支えない機能を配置するなど、水害の視点を加えて頂きたい。	1	学校を始めとした公共施設の防災機能については、高台や低地など地形条件により、水害対応が異なるため、建て替えや大規模改修を行う際には、地域の方々からご意見をいただき、関係部署と協議しながら、機能の充実を図っています。 今後もいただいたご意見を参考にしながら、それぞれの地域の防災機能の充実を図ってまいります。

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
4	既存の民間施設の建物に区施設が入居するのであれば財源の圧縮につながる。しかし市街地再開発のような大規模民間開発に区施設を抱き合わせるような手法は、テナント入居が少ないなど再開発が失敗すれば、区も再開発事業者の一員として建設費・維持管理費の支出が増えることにもなりかねない。民間施設の活用や民間との連携にあっては、大規模化・高層化につながる連携はやめるべきである。	1	本計画案では、施設総量（延床面積）を抑制することとあわせて、機能集約や民間施設の活用等を公共施設マネジメント方針を実現させるための方策として示しており、市街地再開発事業は実現するための有力な手法の一つと考えておりますが、実際にどの手法を適用するかは、個別地区のまちづくり方針や具体的な公共施設の機能等を踏まえ、適切に判断してまいります。
5	「40年間で7%」の総量削減の目標は、2017年計画の「20年間で15%」から後退はしたものの、総量削減の目標を堅持したことには賛成である。	1	いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
6	公共施設の総量抑制、集約化や複合化、施設と機能の分離等の方針には基本的に賛成である。	1	

2 施設類別基本方針について

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
7	P.41、P.42(6)スポーツ系施設(体育館・プール・スポーツ多目的広場など)について、他区の利用者により支障を来しているスポーツ施設があることから、現行施設のさらなる区民の利用を考える観点で基本方針（方向性）に「区民以外の人が利用できるスポーツ施設は、区民を優先する仕組みを検討する。」を追加することを希望する。	1	新河岸川庭球場を含む区立スポーツ施設では、区内登録団体は区外登録団体に先駆けて予約可能とするなどの区民優遇制度を設けています。 現時点では制度の拡充は予定していませんが、各施設の利用状況等を注視し、引き続き検討してまいります。
8	新庁舎の整備は王子駅周辺のまちづくりと連携しながら進める必要がある。「関連計画」には「王子駅周辺まちづくりグランドデザイン、ガイドライン」を追加し、「多角的な視点からの取組」にはp37の北とびあと同様の記述（まちづくりでの将来的な王子駅周辺の機能配置のあり方を踏まえたエリア全体を見据えた検討）を追加すべきである。	1	ご意見を踏まえ、「関連計画」に「王子駅周辺まちづくりグランドデザイン、ガイドライン」を追加します。なお、まちづくりでの将来的な王子駅周辺の機能配置のあり方を踏まえたエリア全体を見据えた検討に関しては、多角的な視点からの取組として、各計画との整合を図ることとしておりますので、まちづくりに関する各計画との整合を図りながら進めてまいります。

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
9	荒川河川敷の緑地公園については、パブコメ終了直後の「荒川将来像計画地区別計画（北区編）」、本計画と同時並行でパブコメが行われている「北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画」に詳細の利用計画が記述されている。この2つの計画を引用し、「・・・区民サービスの向上を図り、「荒川将来像計画地区別計画（北区編）」及び「北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画」の内容に沿った水辺環境を創出します」と記述して頂きたい。	1	いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

3 エリア・マネジメントについて

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
10	岩淵・志茂エリアについては、「北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画（案）」にエリア・デザインの推進体制について記述されているが、推進主体の「（仮称）北区岩淵周辺地区かわまちづくり協議会」に対する「北区・地域住民・民間事業者」の参画イメージが不明である。河川敷を利用する、あるいは利用を検討している民間事業者や区民団体は誰でも、この協議会に参加できるようにし、お互いにトラブルのないように各種調整を図ることが必要と考える。	1	いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。 （参考）【かわまちづくり計画パブコメ No.14】 ご意見を参考に、ワークショップ等を通じ、多様な主体が取り組みへの参画がしやすい仕組みづくりを進めてまいります。
11	西ヶ原エリアについては、本計画にも記述のある通り栄町は七社神社が総鎮守で、旧西ヶ原村に当たり歴史的につながりがある。これまで西ヶ原エリアのまちづくりは高台側のみを対象として進められてきたが、崖線下の栄町や上中里2丁目の荒川氾濫時の避難場所は西ヶ原であり、平時でもこのエリアの施設を使うことが多いため、エリア・デザインは栄町や上中里2丁目を含めたエリアとして導入して頂きたい。	1	【P.68 の項目 4 の記載文を引用】 将来的な新たなエリアへの導入については、今後の大規模公共施設の整備・更新や土地利用転換等だけではなく、地域のまちづくり活動の状況や地域資源などの地域特性も考慮し検討してまいります。

以下につきましては、ご意見の主旨から、「北区公共施設等総合管理計画（案）」に関連したものではなく、個別の施設や計画等に関わる参考意見として承り、情報共有させていただきます。

No	意見（要旨）	件数
12	北とぴあ2階女子トイレは個室が2つだけで観客数に対して不十分であり、開演前に長い列ができていることからトイレを増設した方がよい。	1
13	義務教育学校の設置は、行政側の経費削減以外のメリットがなく、子ども、教職員、保護者にとってはデメリットしかないので、これ以上の設置に強く反対する。	1
14	安定的な収入や学べる環境のある公務員の保育士の数を拡充、子どもの成長に欠かせない園庭確保のできる区立保育施設の増設を強く希望する。保育園については、昨今の保育士不足は労働環境や待遇の悪さによるところも大きい。園庭のない保育所では、温暖化による猛暑で夏は外に出られない、雨や寒い日は室内のみで窮屈な保育環境を強いられることから、子どもが伸び伸びと育つための環境とはいえないと考えるからだ。	1
15	王子駅の北口と中央口をつなぐエレベーター設置、または北口（喫煙所前から）と中央口（交番横付近）を地上最短距離でつなぐ横断歩道の設置を希望する。 現在、駅エレベーターが中央口にしかなく、北とぴあのある北口へは階段のみの歩道橋か、地上では大きく迂回して横断歩道2つ渡らなければならない。足や目の不自由な方、ご老人、ベビーカー、子連れなどが多大な不便を強いられている。早急な改善を求める。	1
16	王子駅周辺のまちづくりについては「王子駅周辺まちづくりランドデザイン、ガイドライン」にその方向性が定められているが、「ランドデザイン、ガイドライン」の策定過程に近隣住民が参画する場はパブコメや説明会しかなかった。王子駅はJR・都電・東京メトロに加え、都バス・コミュニティバス・高速バスなど多くの公共交通の結節点となっていることを十分考慮し、駅周辺まちづくりには区民や公共交通利用者・事業者の参画も必要となる。昨年度より、王子共創会議と王子駅周辺エリアプラットフォームの動きが始まり、ようやく近隣住民や関係事業者等の参画の枠組みができつつあるので、この動きを当面の間推進し、北とぴあもこれらの参画の場で検討を進めて頂きたい。	1
17	赤羽駅周辺のまちづくりについては、赤羽小や赤羽公園を現在地のまま残す意見が大勢を占め、再開発についても高層建築物の建設に反対する意見が多い。赤羽会館も、赤羽公園と隣接する現在地にある方が、区民まつりを始めとする各種イベント等で使いやすいため、現在地で今よりも建物規模が大きくなるような立替又は改修を求めたい。	1
18	都市計画道路の新設については、これまでの各種パブコメや意見交換会でも反対の意見が多く、区民の意向、要望に沿ったまちづくりを進めるべきである。しかしながら区の回答は一貫して「必要な都市計画道路の整備を着実に進めていく」とされており、実質不採用になっている。本計画では鉄道附属街路1～6号線が新設都市計画道路に当たるが、沿道の反対が強く、用地取得は一旦ストップし見直すべきである。杉並区では都市計画道路の必要性の検証を区独自に行い始めている。世田谷区では交通計画や道路構造を工夫して通過交通の防止やまちの分断が図られないようにする検討を各地で行っている。北区もこれらの区の手法を見習い、沿線住民の立場に立って施策を進めるべきである。	1

北区公共施設等総合管理計画（案）のパブリックコメント実施時点からの修正箇所一覧

1 全体的な修正点（主なもの）

修正内容	
施設の配置図、記号の位置及び枠の体裁に関する軽微な修正（個別の修正箇所では記載を省略します。）	

2 個別の修正箇所

頁	修正前	修正後			
4	図表 1 公共建築物の延床面積、構成比(令和 6（2024）年 3 月 31 日現在)				
	施設類別	主な施設	施設数 (施設)	延床面積 (㎡)	構成比 (%)
	福祉系施設	高齢者福祉・障害者福祉	32	41,622.98	5.4
49	関連計画 ・ 北区新庁舎建設基本計画				
	関連計画 ・ 北区新庁舎建設基本計画 ・ <u>王子駅周辺まちづくりランドデザイン、ガイドライン</u>				
66	北区では、「北区都市計画マスタープラン2020」でいう都市機能の集積状況による3段階の拠点のうち、主要駅周辺の「都市中心拠点」においては、各地域の都市活動の中核を担う拠点としての育成や、にぎわいや交流が生まれる拠点としての魅力向上を図るまちづくりを推進し、地域間の交通結節機能を担うことにより生活を支える「地区連携拠点」と、地域での生活を支える「生活中心拠点」においては、「都市中心拠点」との連携のもと、多様な主体によるエリアごとのまちづくりを推進しています。				
	北区では、「北区都市計画マスタープラン2020」でいう都市機能の集積状況による3段階の拠点のうち、主要駅周辺の「都市中心拠点」においては、各地域の都市活動の中核を担う拠点としての育成や、にぎわいや交流が生まれる拠点としての魅力向上を図るまちづくりを推進しています。 <u>駅周辺の賑わいのみならず、</u> 地域間の交通結節機能を担うことにより生活を支える「地区連携拠点」と、地域での生活を支える「生活中心拠点」においては、「都市中心拠点」との連携のもと、多様な主体によるエリアごとのまちづくりを推進していきます。				

頁	修正前	修正後
66	今後のエリアごとのまちづくりでは、エリアの中核となりうる大規模公共施設等について、本計画で示す公共施設等の管理に関する基本的な考え方や基本方針等に基づく取組みを推進するだけではなく、周辺地域も含めた地域の魅力や価値を高める視点が重要です。	今後のエリアごとのまちづくりでは、<u>区民が交流できる施設や公園等</u>、エリアの中核となりうる大規模公共施設等について、本計画で示す公共施設等の管理に関する基本的な考え方や基本方針等に基づく取組みを推進するだけではなく、周辺地域も含めた地域の魅力や価値を高める視点が重要です。
67	●赤羽台・桐ヶ丘エリア（赤羽台ゲートウェイ・ニューヴェル赤羽台等） 	●赤羽台・桐ヶ丘エリア（赤羽台ゲートウェイ・ニューヴェル赤羽台等） 
67	●岩淵・志茂エリア（旧岩淵水門・荒川河川敷・志茂旧道等） 	●岩淵・志茂エリア（旧岩淵水門・荒川河川敷・志茂旧道等） 
68	●西ヶ原エリア（滝野川体育館等） 	●西ヶ原エリア（滝野川体育館等） 